

NO.4

Non profit Organization  
NARA FORUM21

naraなり

## 今年度の事業決まる 談山神社で総会開催

NPO法人奈良21世紀フォーラムの今年度の通常総会は平成十四年五月四日午前十時半から新緑の奈良県桜井市談山神社で開催。平成十三年度の事業と収支を満場一致で承認した後、今年度の事業計画と収支計画を議決し役員を選出した。

冒頭、議長の石橋毅一理事長は次のように挨拶。

『この一年間を通じて、しっかりと形になつたのは、本日ご披露する「万葉けまり」であると思います。古代の復元といえば良いのか、再現と呼べばいいのか、楽しんで遊べるようにいささか古式色も残した新スポーツとして今年度は全国の社寺等で普及してみたい。この他、吉野川上流で公費で買い上げられた原生林をどのように保護利用するか、また大和の伝統食保存の活動、昨年は春日大社の「中旬の献」という貴重な料理を頂いたが、今年は東大寺の結解料理など賞味できればと思つています。さらに奈良町の年中行事の記録保存も続けてまいりたいと考えていますが、いかんせん内外とも財政難で思うようにできなかつたのが残念です。今年もトステイの国際コンクール日本予選大会に対しても微力ながら支援してまいりたいと考えていますので皆様のご支援、会員の増強にさらにご協力を賜りたいと存じます。』

総会の後、当フォーラムの理事である和田萃京都教育大学教授が「飛鳥と新羅の蹴鞠」と題して記念

講演。ここ談山神社にまつる藤原鎌足と中大兄皇子が蹴鞠を通じて知り合つたという日本書紀のある有名なエピソードと同じような話が朝鮮半島の新羅の史書や史料にあることを両国の文献を比較考証しながら指摘。やはり飛鳥寺で行われた蹴鞠が中国から朝鮮半島を通じて、大和に伝來した可能性があり、さらに新羅の王子がその後、飛鳥に来られているので、ひょっとすると中大兄皇子らと蹴鞠をした可能性も示唆。まことワールドカップ日韓開催の年にふさわしいというより、千三百五十八年の歳月を超えた奇跡のような符合に会員各位も驚いた。



談山神社での総会風景と円内写真は和田萃教授

### 第3種郵便

華麗な足さばきに歓声

「談山神社で万葉けまり」ルール考案、競技性披露

平成14年(2002年)5月5日 日曜日



競技性のある蹴鞠として初披露された万葉けまり=4日、桜井市多武峰の談山神社

【記念帳】 桜井市談  
山本和也 で断行した天皇と賛  
日、サッカ で知り合った。古代賽は「W杯」の代表や  
ー・ワールドカップ（W 杯）を記念し考案した新  
杯）を記念しし考案した新  
スポーツ「万葉蹴躰」の進鑑を。  
【野口】あづけ

披露試合があつた  
写真。

産業労働新聞 平成14年(2002年)5月5日 日曜日



「万葉けまり」  
奈良・談山神社 遊戯からスポーツに

日本古来の「蹴鞠」に「ゲー」を一回以上けり上げた  
性を持たせらるるな後、相手陣の地面に落  
るか。日韓共能リツカセば得点というルール  
「ワールドカップ」(W.C.)  
「ゲー」を前題に「新規競争」  
「万葉集」よりが考究出  
され、四日奈良縣桜井  
市之若山神社初めて被  
露された「立嘗富」。  
考究したのは、地元文  
化的発達の核むP.M.  
「春日2世祖ノオーラ  
木人石大石さん」四は「慣  
ム」。選手一人が「一チ」るまでが大変」と話す  
ムになり、味方同士で鞠  
いた。



## 理事・監事・事務局・会員・まり足 皆んなそろって記念撮影

横9.5mのコトを、芬芳樹で中央に囲むのひもを張る。ボルトを3回以上しないで相手陣地へ入り返し、10点先取した方が勝つ。  
……古代中国の民族衣装  
装束ユンホームを着たサチ  
「カーラ好者ら12人が  
みなボルトさきを披  
露」回フオーラムは「各  
国チームの歓迎イベント  
で紹介できれば」。

A black and white photograph showing a group of people in traditional attire, possibly a wedding party, standing outdoors near a building.

いざみ  
  
は、飛鳥時代の  
に大陸から伝わった鐵鍊を  
に觸覚感覚を探り入れた  
万葉集までその考案、4  
葉けまりと考案、4  
神社で公開して写真  
ドカラブのムードを盛り  
上げるのが狙い。総20分  
?サッカー?・ワール

# 『いまなぜ万葉けまりか』

最近、昼間のマチや車の内で必死の面持ちで前へ進もうと苦斗する七十歳代の足のいささか不自由な人の姿が目につき、胸を打ちます。特に男性が目立つ。多分現役時代、忙しくつて社用車や専用車にばかり乗っていて、たまの休みにゴルフ何かで足をきたえていたつもりでしたのではないだろうか。

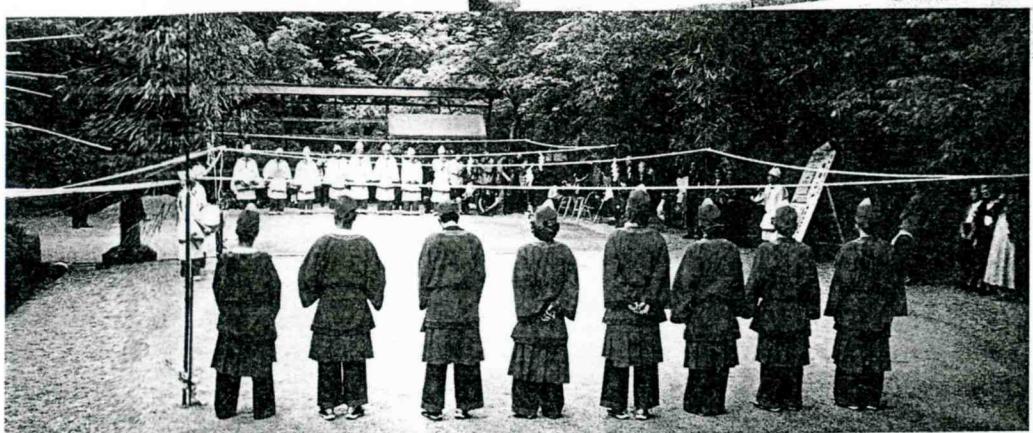
最近の人類学の知見によると、いま六十一億を数える人類の最初の祖先は、今から五百万年前、アフリカ大陸の北東部の熱帯雨林の樹の上から降りて以来、四百九十九万年間ひたすら安定した食糧と飲み水などを求めて地球の上を歩きまわってきたので、ヒトの体のうち、筋肉だけは年をとつても鍛えれば強くなるという。ゲートボールなんか問題外。ゴルフも月に一・二回ではだめ。Qちゃんだってオリンピックの金メダルの翌日も何十キロか走ったではないか。サッカーもいいが球戯というより格闘技でややきつすぎる。変な掛け声を出す京都の公家蹴鞠は、鹿皮の毬を地上に落さないようにラフティングの数だけを競うだけで、相手の

チームに不介入。観ていても面白くもなんともないし、家元制度の名残りで誰でも簡単には参加できないお上品な競技。

そこで、「けまりの研究」で知られる渡辺融東大名誉教授、飛鳥時代の服飾史に詳しい考古学の猪熊兼勝京都橘女子大教授、ワールドサッカーをずっと追いかけて来られたスポーツジャーナリストの賀川浩さんのお三方を特別委員として招き、万葉けまり製作委員会を二〇〇一年発足。そして出来たのは、ご覧のような記事になりました。

ユニアームは山口理事のご好意により近鉄百貨店で無料提供。審判携帯の太鼓・鐘は四天王寺ワツツ事務局からのご提供。二十名のまり足ゲートボールなんか問題外。ゴルフは関西在住のサッカー選手のボランティア参加。各地で誕生する新けまりの中では、多分最も正確に資料に基づき飛鳥時代の蹴鞠を再現してると自負できるが、攻防の面白みに依然欠け、今後ルールなどの改良の余地がある。

明治以来蹴鞠が途絶えている全国の社寺に奉納する他、サッカー好きで、日本と対戦するチニシアが奈良でキャンプするのを機に、訪れる世界の人々に蹴鞠を見てもらおうと、優雅さにスピード感のある競技性を加えた。



「万葉サッカー」  
「W杯機に普及目指す」

両サイドに整列してから  
いよいよキックオフ



けまり祭で知られる奈良県桜井市の凌雲山神社で4日、勝敗を競う蹴鞠が披露された。写真は奈良のNPO法人「奈良21世紀フォーラム」が考案し、「万葉けまり」と名付けた。サッカー・ワールドカップ（W杯）期間中、日本と対戦するチニシアが奈良でキャンプした後、敵陣地へ入りれる。参加した社会人のサッカー選手にも好評で、W杯を見てもおこうと、優雅さにスピード感のある競技性を加えた。

飛鳥時代の衣装がユニホーム。毬を張ったコート内でお一人一組で対戦する。毬にはバレーボールを使い、2回以上地面に落とさずバストした後、敵陣地へ入りれる。参加した社会人のサッカー選手にも好評で、W杯を見てもおこうと、優雅さにスピード感のある競技性を加えた。

# 川上村「森と水の源流館」オープントンのお手伝い



川上村は『日本一美しい水源地の村』をめざしています。

川上村の奥深くから流れ出す吉野川の源流は、私たちの暮らしに大きいなる自然の恵みを授けてくれています。森の木々は、恵みの雨をその根源いっぱいに蓄え、土地を守り、空気を淨化し、谷筋から湧き出す水はやがて二筋の流れ：吉野川・紀ノ川となつて奈良盆地や遠く和歌山平野にいたる大地を潤しています。

この豊かな森と水の恵みを、未来の子供達に手渡したい。源流を通して自然と私たちの関わりを一緒に考え行動し、その体験から一人ひとりが答えを見出していく取組みを、川上村は『源流学』と名づけています。

『森と水の源流館』は、私たちを源流（源流学）へといざない、自然や環境、そこに棲む生き物たち、古代からの人々の暮らしなどを発見する入り口です。私たちの暮らしと森と水はどんな関係があるのか？それ等を体験する館です。川上村のこの取組みに奈良21世紀フォーラムは協力し、四月二十九日のオープンには、前日から十一名の会員がお手伝いに参りました。

『水源地の森を守る募金を募っています』

吉野川・紀ノ川源流人会、ボランティア募集

いずれもお問合せは

森と水の源流館

○七四六五一一〇八八八 または、

●奈良21世紀フォーラム

○七四一一三五一七〇〇七



「森と水の源流館」オープンテープカットならぬ蔓カット

## トスティーピックス

社会の誰がいま  
あなたを必要としているか  
それは奈良21世紀フォーラムです。

## ボランティア募集

事務局・編集局（会報・ホームページ作成）、企画局（各種イベント企画）のお手伝いをして頂ける方。

### 【理事紹介】

理 事 長	石 橋	泰 一
専 務 理 事	梶 木	康 雄
理 事	鳳 谷	泰 之
事	中 島	實 男
理 事	増 尾	正 子
事	山 口	昌 紀
事	堀 井	良 殿
事	水 谷 川 忠 俊	
監 理	和 田	萃
事	中 島	大

さらに、来年の十月二日から三日間奈良市秋篠音楽堂で本邦初のトスティーピックス国際コンクール日本予選大会を開催、日本代表三名を選んで翌年イタリアで開かれ国際コンクールに送る。

当フォーラムはこれらの事業を今年も支援するが、入場・出場の希望の方は秋篠音楽堂まで電話〇七四一一三五一七〇七〇

## 【編集後記】

さわやかな日が続きます。盛上がり見るW杯を前に万葉けまりも出来上がりました。川上村は空氣・水のきれいなとても美しい村です。近鉄奈良駅からでも、車で九十分もかかりません。一度「森と水の源流館」と水源地の森、川上村を訪ねてください。おすすめします！ 本間

編集長 本間玲子  
編集委員 大辻康夫 高岡幸雄  
東條純三  
発行 特定非営利活動法人  
奈良21世紀フォーラム  
〒630-8114 奈良市芝辻町4-3-1  
TEL.FAX 0742-35-7007  
e-mail:nara21cf@poem.ocn.ne.jp  
http://www2.ocn.ne.jp/~nponara/